

TAISEI

たいせいサークル

Circle

2006年度ご報告



法務省 旧本館（中央合同庁舎第6号館赤レンガ棟）

1950年改修・1994年再改修（ともに当社施工）東京都千代田区

ヘルマン・エンデ、ヴィルヘルム・ベックマン、河合浩蔵設計

本格的なドイツ・ネオバロック様式。歴史的価値が高く、重要文化財に指定されている。



TAISEI

For a Lively World

経営理念

使命

人がいきいきとする環境を創造する

経営姿勢

生活者の発想をもって顧客の満足を得る

新しい価値の創造にまっ先に挑戦する

多様なものの見方、考え方を尊重する

人と自然の関係を大切にする

行動指針

互いに信頼し協力する (Trust)

広く社内外の能力を結集する (Arrange)

つねに改善、改革に努める (Innovation)

まず踏み出す勇気を持つ (Step forward)

自然に学び、それを活かす (Environment)

見えているものの先を見る (Insight)

ゆとりを持って明るく行動する (LIVELY)

LIVELY TAISEI

CONTENTS

株主の皆様へ 代表取締役社長 山内隆司	4
FINANCIAL DATA	
業績の推移	6
2006年度連結決算のご報告	10
2006年度単体決算のご報告	14
ECOLOGICAL SOLUTION	
都心に水辺環境と里山の雑木林を再現した 新宿御苑100周年記念事業	18
TAISEI NOW	
オープン&ダイナミックな研究開発環境へ。 技術センター研究本館をリニューアル	20
東アフリカ・ジブチ共和国に高級ホテル 国際会議開催に合わせ、超短工期で第一期完成	22
タイ現地法人設立以来のビッグプロジェクト バンコク産業環状道路建設工事	23
UNDER CONSTRUCTION	
主な施工中工事のご紹介	24
CONTRACTS RECEIVED	
主な受注工事のご紹介	26
CONSTRUCTION COMPLETED	
主な完成工事のご紹介	28
株式の状況	30
会社の概要	32
株主メモ	34

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素よりご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

日本経済は史上最長の景気拡張期にあります。建設業界は今まさに未曾有の荒波にもまれております。このような状況下にあつて2004年度よりスタートした「中期経営計画」は、主な業績目標を達成し完了しました。

建設市場は競争がさらに激化し、最終的に再編・淘汰が進み業界の構図が大きく変化することが予測されます。そうした中、当社グループは様々な変革・革新を先取りし、実行してまいります。また当社グループが行う事業に対して説明責任を果たし、より透明性が高く公正な企業活動を行うことで王道を志向する経営を目指します。

当社グループは2007年度より新たな中期経営計画をスタートいたします。『利益体質の強化』・『戦略的受注体制の確立』・『新たな収益源の確保』の3つを「戦略課題」と位置付け、それらの解決と数値目標の達成に邁進いたします。

中期経営計画の最終年度となる2009年度における連結ベースの受注高は1兆8,300億円、売上高は1兆8,100億円、経常利益は640億円を目標にしております。

なお当下半期の配当金は1株につき3円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



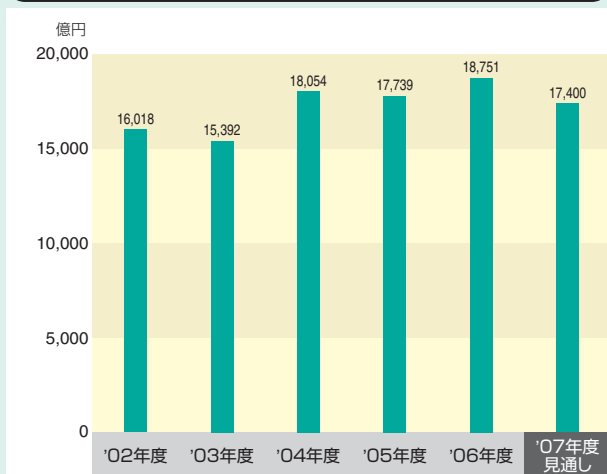
代表取締役社長

山内隆司

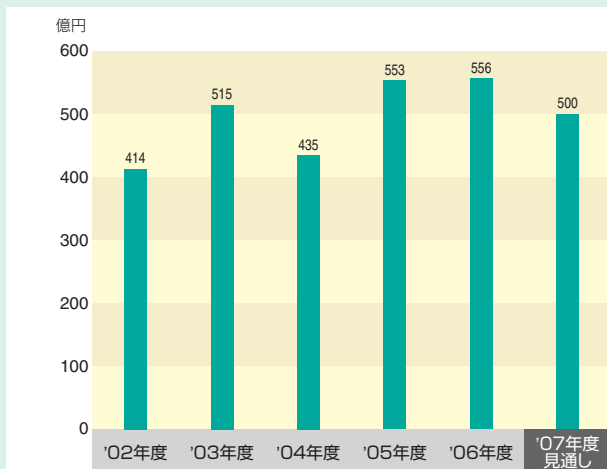
業績の推移

■ **連結** (連結子会社38社 持分法適用関連会社9社)

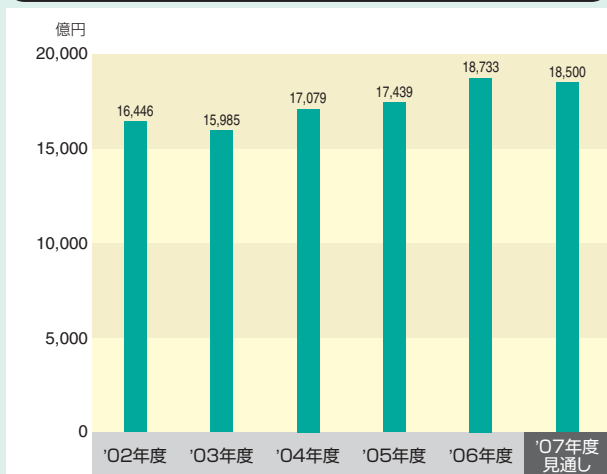
受注高



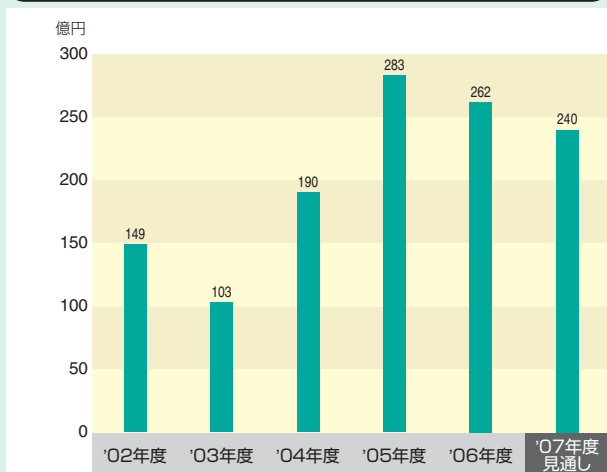
経常利益



売上高



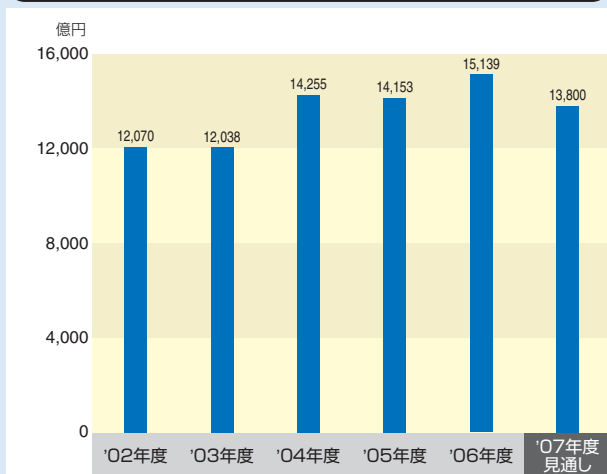
当期純利益



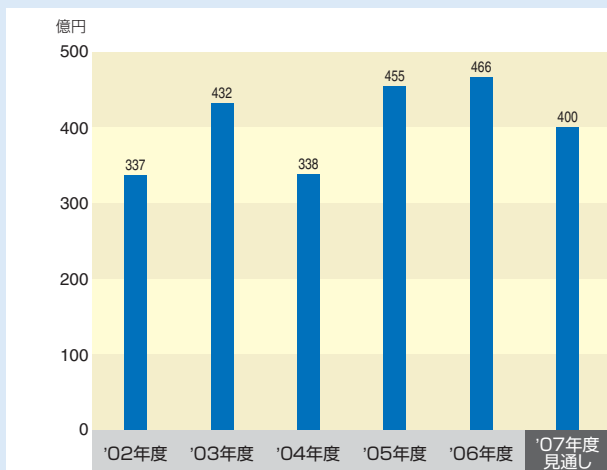
業績の推移

■ 単体

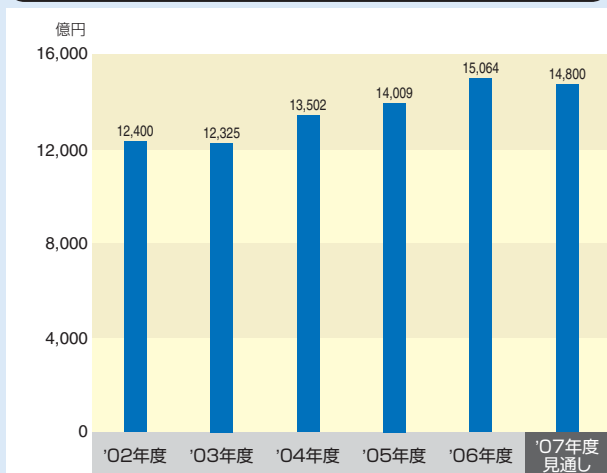
受注高



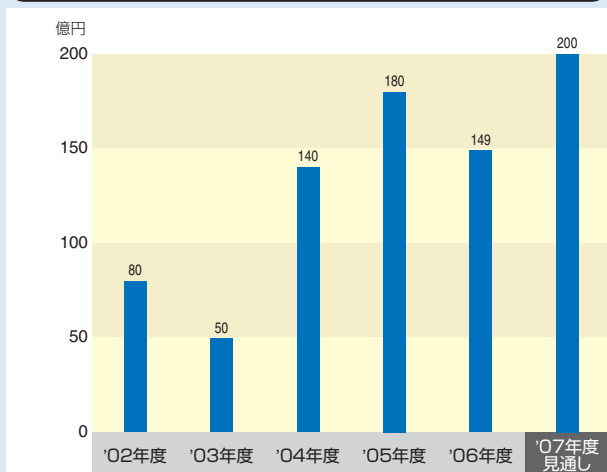
経常利益



売上高



当期純利益



2006年度連結決算のご報告

■連結貸借対照表の要旨 (2007年3月31日現在)

(単位：億円)

■資産の部		■負債の部	
流動資産	12,009	流動負債	11,618
現金預金	1,555	支払手形・工事未払金等	6,086
受取手形・完成工事未収入金等	5,418	短期借入金	1,921
未成工事支出金等	2,117	一年以内償還の社債	150
たな卸不動産	1,608	未成工事受入金	1,989
繰延税金資産	559	完成工事補償引当金	27
その他	765	工事損失引当金	52
貸倒引当金	△15	その他	1,391
固定資産	7,883	固定負債	4,057
有形固定資産	2,706	社債	700
建物・構築物	870	長期借入金	2,069
機械・運搬具・工具器具備品	124	繰延税金負債	501
土地	1,692	再評価に係る繰延税金負債	91
建設仮勘定	18	退職給付引当金	298
無形固定資産	100	役員退職慰労引当金	8
投資その他の資産	5,076	関係会社投資等損失引当金	10
投資有価証券	4,125	環境対策引当金	4
繰延税金資産	118	その他	372
その他	902	負債合計	15,675
貸倒引当金	△69	■純資産の部	
		株主資本	2,666
		資本金	1,124
		資本剰余金	794
		利益剰余金	748
		自己株式	△1
		評価・換算差額等	1,226
		その他有価証券評価差額金	1,242
		繰延ヘッジ損益	1
		土地再評価差額金	△9
		為替換算調整勘定	△7
		少数株主持分	324
		純資産合計	4,217
資産合計	19,893	負債、純資産合計	19,893

■ **連結損益計算書の要旨** (2006年4月1日から2007年3月31日まで)
(単位：億円)

売上高	18,733
完成工事高	16,735
開発事業等売上高	1,997
売上原価	17,087
完成工事原価	15,571
開発事業等売上原価	1,515
売上総利益	1,645
完成工事総利益	1,164
開発事業等売上総利益	481
販売費及び一般管理費	1,069
営業利益	576
営業外収益	99
受取利息配当金	48
匿名組合投資収益	33
その他	17
営業外費用	120
支払利息	82
租税公課	17
その他	20
経常利益	556
特別利益	286
投資有価証券売却益	51
関連事業譲渡益	199
その他	35
特別損失	356
棚卸資産評価損	238
減損損失	36
その他	81
税金等調整前当期純利益	486
法人税、住民税及び事業税	115
法人税等調整額	87
少数株主利益	22
当期純利益	262

2006年度連結決算のご報告

連結株主資本等変動計算書の要旨 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：億円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高	1,124	794	541	△1	2,459
当連結会計年度変動額					
剰余金の配当(注1)			△31		△31
剰余金の配当			△31		△31
役員賞与(注1)			△0		△0
当期純利益			262		262
自己株式の処分		0		0	0
自己株式の取得				△0	△0
土地再評価差額金取崩			0		0
在外子会社資産再評価			9		9
在外子会社為替換算調整勘定			0		0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)(注2)					
当連結会計年度変動額合計	—	0	207	△0	207
当連結会計年度末残高	1,124	794	748	△1	2,666

	評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前連結会計年度末残高	1,012	—	△9	△10	992	288	3,739
当連結会計年度変動額							
剰余金の配当(注1)							△31
剰余金の配当							△31
役員賞与(注1)							△0
当期純利益							262
自己株式の処分							0
自己株式の取得							△0
土地再評価差額金取崩			△0		△0		—
在外子会社資産再評価							9
在外子会社為替換算調整勘定							0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)(注2)	229	1		2	233	36	270
当連結会計年度変動額合計	229	1	△0	2	233	36	477
当連結会計年度末残高	1,242	1	△9	△7	1,226	324	4,217

(注1)2006年6月の定時株主総会における利益処分項目である。

(注2)土地再評価差額金取崩による変動額を除く。

大成グループ

グループビジョン

建設事業を中核として、
技術とノウハウにより豊かな価値を創造し提供することを通じて、
広く社会に貢献していきます。

【主なグループ会社】

建設事業	大成ロテック(株) 〒104-8383 東京都中央区京橋3-13-1 有楽ビル Tel 03-3567-9431(代表)	道路舗装工事、その他土木工事、舗装用アスファルト合材の製造・販売等 東証1部上場
	大成ユーレック(株) 〒141-0031 東京都品川区西五反田7-23-1 第3TOCビル Tel 03-3493-4941(代表)	集合住宅の企画・設計・施工、リニューアル工事の企画・設計・施工、コンクリート部材の供給
	大成設備(株) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-9-2 フジ・エステイト新宿第1ビル Tel 03-5308-7611(代表)	空調・衛生・電気他設備工事業
	大成建設ハウジング(株) 〒163-1019 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー Tel 03-5339-8026(経営管理部)	コンクリート住宅「パルコン」、ツーバイフォー住宅「空間王」の設計・施工・販売
	成和リニューアルワークス(株) 〒163-0610 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル Tel 03-5326-0710(代表)	建設・産業機械の製作・販売、土木建築の基礎工事等
開発事業	有楽土地(株) 〒104-8330 東京都中央区京橋3-13-1 有楽ビル Tel 03-3567-9411(代表)	不動産の分譲・賃貸・斡旋・鑑定・コンサルティング、保険代理業 東証2部上場
その他の事業	大成サービス(株) 〒104-8332 東京都中央区京橋3-12-2 京橋第2有楽ビル Tel 03-3567-9231(代表)	ビル・マンション等の管理、警備等
海外事業	大成コンストラクション 米国・カリフォルニア州	米国における建設工事全般

2006年度単体決算のご報告

■貸借対照表の要旨 (2007年3月31日現在)

(単位：億円)

■資産の部		■負債の部	
流動資産	9,719	流動負債	9,859
現金預金	1,166	支払手形	372
受取手形	143	工事未払金	4,876
完成工事未収入金	4,524	短期借入金	1,259
販売用不動産	631	一年以内償還の社債	150
未成工事支出金	1,838	未払法人税等	54
開発事業等支出金	181	未成工事受入金	1,782
繰延税金資産	522	預り金	1,033
未収入金	597	完成工事補償引当金	19
その他	122	工事損失引当金	50
貸倒引当金	△8	その他	260
固定資産	6,717	固定負債	2,810
有形固定資産	1,181	社債	700
建物・構築物	325	長期借入金	1,390
機械・運搬具	51	繰延税金負債	380
工具器具・備品	11	退職給付引当金	140
土地	778	関係会社投資等損失引当金	56
建設仮勘定	14	環境対策引当金	3
無形固定資産	65	その他	138
投資その他の資産	5,471	負債合計	12,670
投資有価証券	3,889	■純資産の部	
関係会社株式・関係会社出資金	583	株主資本	2,562
長期貸付金	483	資本金	1,124
破産債権、更生債権等	22	資本剰余金	794
長期前払費用	5	資本準備金	417
長期保証金	179	その他資本剰余金	376
長期営業外未収入金	385	利益剰余金	645
その他	213	その他利益剰余金	645
貸倒引当金	△292	固定資産圧縮積立金	29
		別途積立金	425
		繰越利益剰余金	190
		自己株式	△1
		評価・換算差額等	1,204
		その他有価証券評価差額金	1,203
		繰延ヘッジ損益	1
		純資産合計	3,767
資産合計	16,437	負債、純資産合計	16,437

■ 損益計算書の要旨 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：億円)

売上高	15,064
完成工事高	14,549
開発事業等売上高	515
売上原価	14,015
完成工事原価	13,629
開発事業等売上原価	385
売上総利益	1,049
完成工事総利益	919
開発事業等売上総利益	130
販売費及び一般管理費	626
営業利益	423
営業外収益	136
受取利息配当金	95
匿名組合投資収益	33
その他	7
営業外費用	93
支払利息	61
貸倒引当金繰入額	6
租税公課	17
その他	7
経常利益	466
特別利益	147
投資有価証券売却益	46
関連事業譲渡益	78
その他	21
特別損失	324
棚卸資産評価損	231
減損損失	23
その他	70
税引前当期純利益	289
法人税、住民税及び事業税	69
法人税等調整額	69
当期純利益	149

2006年度単体決算のご報告

株主資本等変動計算書の要旨 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：億円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前期末残高	1,124	794	559	△1	2,477
当期変動額					
剰余金の配当(注)			△31		△31
剰余金の配当			△31		△31
取締役賞与(注)			△0		△0
当期純利益			149		149
自己株式の処分		0		0	0
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	85	△0	85
当期末残高	1,124	794	645	△1	2,562

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
前期末残高	963	—	963	3,441
当期変動額				
剰余金の配当(注)				△31
剰余金の配当				△31
取締役賞与(注)				△0
当期純利益				149
自己株式の処分				0
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	239	1	241	241
当期変動額合計	239	1	241	326
当期末残高	1,203	1	1,204	3,767

(注)2006年6月の定時株主総会における利益処分項目である。

■ 剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額	一株当たりの配当額	基準日	効力発生日
2006年6月27日 定時株主総会	普通株式	3,193百万円	3円00銭	2006年3月31日	2006年6月28日
2006年11月15日 取締役会	普通株式	3,193百万円	3円00銭	2006年9月30日	2006年12月5日

決議	株式の種類	配当金の総額	配当の原資	一株当たりの配当額	基準日	効力発生日
2007年6月26日 定時株主総会	普通株式	3,193百万円	利益剰余金	3円00銭	2007年3月31日	2007年6月27日

都心に水辺環境と里山の雑木 新宿御苑100周年記念事業



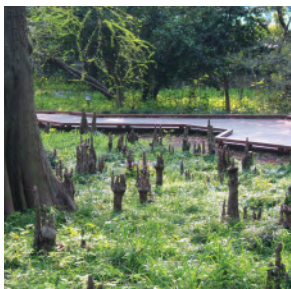
「母と子の森」。林のすぐ向こうには、新宿副都心の高層ビル群

都心とは思えない豊かな緑に囲まれた庭園、新宿御苑。その歴史は古く、皇室苑地として庭園に改造されたのが1906年（明治39年）。現在は環境省が直接管理しており、昨年、開苑100周年を迎えました。その記念事業の一環として、大成建設施工により全面改修が進められていた『母と子の森』内のビオトープ（生物の生息空間）が、今年1月にリニューアルオープンしました。

都心で自然体験ができる環境学習フィールド『母と子の森』は、子供用プールを池に転用し、水生植物の鉢やメダカ、ヨシノボリ、ドジョウなどを放流して1985年に整備されました。しかし池の水底や周囲がコンクリートのため、自然な水辺環境の再現が難しく、周囲の林も生物相が単調な樹林構成となっていました。このため、ビオトープの質を向上させ、子供たちがより多くの生き物と触れ合える環境教育の場づくりを目的とするリニューアル計画が、2003年にスタートしました。

林を再現した

独特の形の気根を形成するラクウショウの森。気根を保護するために木道を整備



オープニングセレモニーで行われた、子供たちによるメダカの放流

工事は1年半で、人工池や川を中心に周囲の林を含めた4ヘクタールもの広大な敷地を整備改修。既存のプールやアスファルトの撤去に際しては、プール内の水生植物や魚を事前に採取・仮移植し、工事完了後に再び新たな池に戻しました。池や川の造成工事では、プール撤去後に現れた碎石を基盤材として再利用、池や川の流れには、水を循環させる仕組みを構築するなどさまざまな工夫を施しました。さらに、生い茂った木々の間伐や枝切りを行い、苑内に堆積しておいた池の浚渫土を再利用してつくった築山に現地​​の表土を復旧し、コナラやクヌギを植えるなど、かつての里山の雑木林を再現しました。

その結果、せせらぎの音が聞こえ、雑木林が風にそよぐ中に多様な生物が棲息する環境を見事に創出。復元した池には、カルガモやカワセミ、アオサギなどの生物も確認されています。

2月22日には、近隣の小学校から約100名の生徒を招いてオープニングセレモニーが開かれ、メダカの放流や環境体験学習が行われました。都会に住む子供たちが自然と触れ合う環境教育の拠点として、今後の活用が大きく期待されています。

オープン&ダイナミックな 研究開発環境へ。 技術センター研究本館をリニューアル



当社の研究開発拠点である技術センター研究本館（横浜市戸塚区）のリニューアルが今年2月に完成しました。

「コミュニケーション」
「セーフティ&セキュリティ」
「サステナビリティ」の3つの
コンセプトのもと、多くの最
新技術を導入した増床・改修
により、研究者間の交流を深
め、創造性を喚起する研究開
発環境を実現した未来志向の
研究施設に生まれ変わりました。
土木・建築等の分野間融
合と、社内外との連携を強化
し、オープンかつダイナミッ
クな研究開発活動により新し
い価値を生み出していきます。



「クリエイティブコート」
異分野間の偶発的なコミュニケーションを誘
発する3~4階の吹き抜け空間

また、建物はそのまま当社の保有する最新技術のショーケース
となっています。

【主な適用技術】

■ダクトAF

ダクトAF (Ductal®) は、通常のコンクリートの5~8倍という、桁違いの強度を発揮する革新的なコンクリート系素材です。今回、増床部に耐火性能をより向上させたダクトAFを、日本で初めて建築の主要構造部材として適用しました。

■コンパクトダブルスキン

技術センターの外壁に用いられ、従来のダブルスキンと同等の省エネルギー性能を、約1/3の厚さ(200mm程度)で実現。ユニット化工法により工期とコストが低減され、リニューアルへの適用も容易です。

■天井吊り型パーソナル空調・設備ユニット

個人のパソコンから風向・風量を個別に操作できる吹出口を、座席ごとに設置可能なシステムで省エネと快適性を実現しました。吹出口の自在な位置変更によりオフィスレイアウト変更などにもフレキシブルに対応できます。

サステナブル建築の新指標=CASBEE最高ランク実現

このリニューアル工事を経て、技術センター研究本館は、建物の総合環境性能評価「CASBEE・改修」における最上位の「Sランク」、「環境性能効率(BEE) = 4.2」を達成しています。CASBEE (Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency) は、財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC) が推進する建物の総合環境性能評価システムで、なるべく少ない環境負荷で、高い品質性能を実現することによりスコアが上がる5段階の建築物評価指標です。

当社では他に、昨年6月に竣工した札幌支店(大成札幌ビル)が、新築物件として「CASBEE」において「Sランク」、「環境性能効率(BEE) = 4.5 (事務所用途)」となり最高ランクを実現しています。



大成札幌ビル (札幌支店)

東アフリカ・ジブチ共和国に高級ホテル 国際会議開催に合わせ、超短工期で第一期完成

アフリカとアラビア半島を分ける紅海の入口にあるジブチ共和国は、人口約80万人、四国をやや大きくしたほどの小さな国



ケンピンスキーホテル外観

です。夏には気温50度を超える日も多い首都ジブチで、当社は今、1977年に同国がフランスから独立して以来、初の5つ星クラスとなる高級ホテルの建設を進めています。

この「ケンピンスキーホテル」の建設は、ジブチ政府が海外の民間資本を導入して開発していく都市インフラ整備プロジェクトの一環。当社には、ドバイ国際港湾局の下部組織であるナキール社から発注されました。ただし、問題は1年10ヵ月という超短工期。その上、工事途中の2006年11月に開催される「東南アフリカ共同市場（COMESA）会議」の会場として、2006年10月末にはホテル全室の半数にあたる176室と会議場を設計施工で完成し、引き渡さなければなりませんでした。

しかしながら当社は、インフラの未整備と自国内に資源がないという悪条件のもと、作業所の環境づくりや工事材料の調達に非常に苦労しながらも懸命に作業を行い、



第一期工事完成は地元紙でも大きく報道された

無事に一部引き渡しを成功させました。当社には、ジブチ共和国およびナキール社から大きな賛辞が寄せられ、その信頼は揺るぎないものとなりました。

タイ現地法人設立以来のビッグプロジェクト バンコク産業環状道路建設工事

当社は、1984年にタイ王国における現地法人、大成タイランドを設立し、以来、日系顧客のタイ進出のパートナーとして数多くの物件を施工してきました。

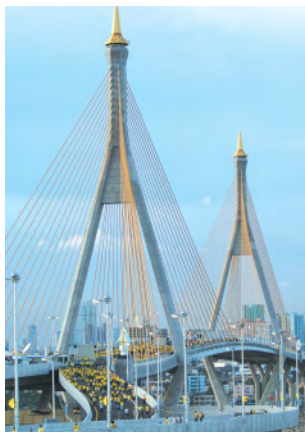
2003年からは、バンコク市中心部と郊外を結ぶ「バンコク産業環状道路（リングロード）」に架設するリングロード橋の建設工事を担当し、この度これを完成させました。場所はバ

ンコク中心部から数km。チャオプラヤ川の大きな蛇行により、道路は2カ所で川を横断します。当社は、メイン工事である2本の斜張橋と、斜張橋を結ぶインターチェンジとの取り合い部の上下部工事を施工しました。

昨年秋の部分開通以来、リングロード橋は南部工業地域からの交通量緩和と移動時間短縮に大きな役割を果たしています。従来、南部工業地域への交通には、チャオプラヤ川を大きく迂回するか、フェリーを利用するしかなく、製造業者の物流業務における悩みの種となっていました。



夜景の美しさで話題のランドマークに



「合掌」をイメージした橋梁デザイン

橋梁のデザインは、タイ人が挨拶の時に交わす「合掌」をイメージした美しいもの。付近の住民や日系企業の駐在員の方々にも大変好評です。

UNDER CONSTRUCTION

主な施工中工事のご紹介



アルマスタワー新築工事
(アラブ首長国連邦)



カントー橋建設工事
(ベトナム社会主義共和国)



市川駅南口地区第一種市街地再開発事業
B街区施設建築物新築工事
(千葉県市川市)



(仮称) MK (武蔵小杉Ⅱ-1街区)
プロジェクト新築工事
(神奈川県川崎市)

UNDER CONSTRUCTION

主な施工中工事のご紹介



第二京阪道路小路トンネル工事
(大阪府寝屋川市)

CONTRACTS RECEIVED

主な受注工事のご紹介

工事名称
アルジェリア 東西高速道路建設工事(東工区)
アラブ首長国連邦 ゲートウェイタワーズ&ポディウム新築工事の内 低層部建設工事
筑波新棟建設工事
上大岡C南地区 第一種市街地再開発事業施設建築物建設工事
東京国際空港国際線地区エプロン等整備等事業



奈良県川上村
白屋地区地すべり対策工事
(奈良県吉野郡)

場所	発注者
アルジェリア民主人民共和国	アルジェリア政府 公共事業省高速道路公団
アラブ首長国連邦	ナキール社
茨城県	アステラス製薬(株)
神奈川県	上大岡C南地区 市街地再開発組合
東京都	羽田空港国際線エプロンPFI(株)

CONSTRUCTION COMPLETED

主な完成工事のご紹介



(仮称) 太平四丁目錦糸町開発計画新築工事
(東京都墨田区)
東京建物(株)他



忠別ダム建設事業の内 フィル堤体建設第5期工事
(北海道上川郡)
北海道開発局旭川開発建設部



牛島再開発事業第2期工事
(愛知県名古屋市)
牛島市街地再開発組合



(仮称) 東京ミッドタウンプロジェクト (B・E棟) 新築工事
(東京都港区)
アール・ピー・ベータ特定目的会社 他9社



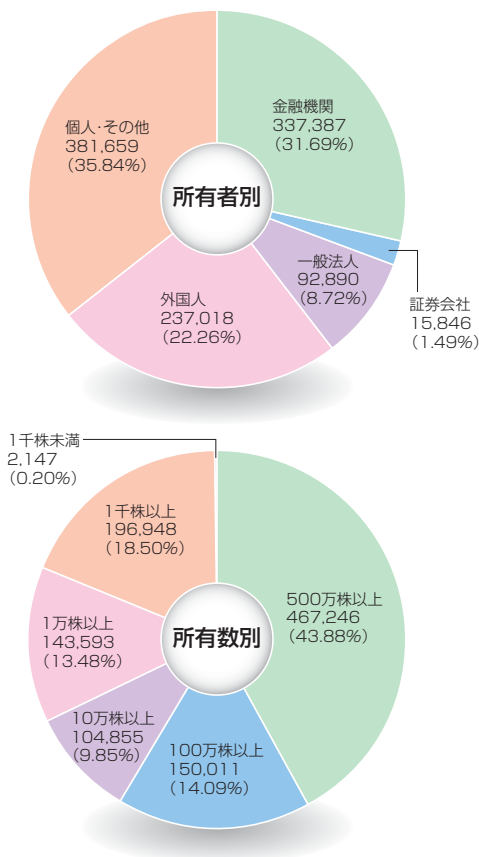
インド プルリア揚水発電所建設工事
(インド)
西ベンガル州電力公社

株式の状況 (2007年3月31日現在)

●株式の異動

発行可能株式総数	2,200,000,000株
発行済株式の総数	1,064,802,821株
当期末株主数	107,733名
当期中の名義書換件数	2,509件
当期中の名義書換株式数	50,922,362株

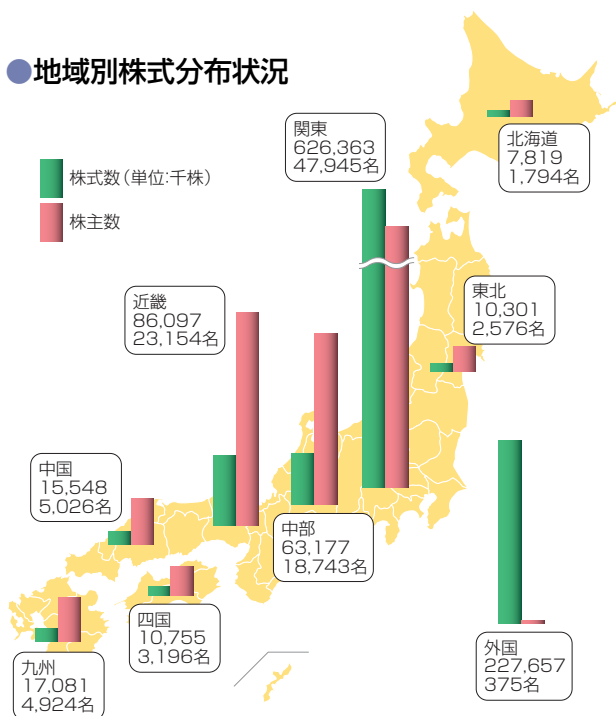
●株式分布状況 (単位：千株)



●株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	59,920	5.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	51,368	4.82
大成建設社員持株会	26,795	2.52
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	23,088	2.17
大成建設取引先持株会	20,339	1.91
三菱地所株式会社	17,604	1.65
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.51
明治安田生命保険相互会社	15,741	1.48
住友信託銀行株式会社 (信託B口)	14,156	1.33

●地域別株式分布状況



会社の概要 (2007年3月31日現在)

●商号

大成建設株式会社
(英文名 TAISEI CORPORATION)

●設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

●資本金

112,448,298,842円

●本店

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号新宿センタービル
電話 03(3348)1111

●従業員数(就業人員)

9,310名

●支店

東京支店(東京都新宿区)	横浜支店(横浜市)
関西支店(大阪市)	北信越支店(新潟市)
名古屋支店(名古屋市)	四国支店(高松市)
九州支店(福岡市)	千葉支店(千葉市)
札幌支店(札幌市)	関東支店(さいたま市)
東北支店(仙台市)	神戸支店(神戸市)
広島支店(広島市)	京都支店(京都市)

●事業本部

住宅事業本部
国際事業本部(国際建築支店・国際土木支店)

●技術センター

(横浜市)

●国内営業所等 (2007年4月1日現在)

61か所

●海外営業所等 (2007年4月1日現在)

ソウル営業所	インド営業所(ニューデリー)
台北営業所	中東支店(アブダビ、ドーハ、ドバイ)
フィリピン営業所(マニラ)	北アフリカ営業所(リビア)
ミャンマー営業所(ヤンゴン)	ヨーロッパ営業所(フランクフルト)
クアラルンプール営業所	アメリカ営業所(カリフォルニア)
ジャカルタ営業所	ペルー営業所(リマ)

● 役員 (2007年6月26日現在)

■ 取締役

代表取締役会長	葉山莞児
代表取締役社長	山内隆司
代表取締役	鶴田宣彦
代表取締役	南部邦彦
代表取締役	岡本 敦
取締役	園田邦之
取締役	増田光男
取締役	可児才介
取締役	小林将志
取締役	五木田通夫
取締役	市原博文
取締役	阿久根操
取締役	関谷哲夫
取締役	山本恵朗

*関谷哲夫及び山本恵朗は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

■ 監査役

常任監査役(常勤)	田丸 浩
常任監査役(常勤)	詫間博康
監査役	岡村 甫
監査役	中島孝夫
監査役	上野治男

*岡村甫、中島孝夫及び上野治男は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

■ 執行役員

社長	山内隆司
副社長	鶴田宣彦
副社長	南部邦彦
副社長	園田邦之
副社長	岡本 敦
専務役員	伊藤美喜男
専務役員	増田光男
専務役員	高橋大輔
専務役員	寺下 均
専務役員	小倉勝彦
専務役員	可児才介
専務役員	小林将志
専務役員	五木田通夫
専務役員	駒井勇夫
専務役員	鎌田 勝
専務役員	前田 誠
専務役員	山田潤二
専務役員	河村壮一
専務役員	市原博文
専務役員	窪添貴治
専務役員	荒井康博
専務役員	久保博司
専務役員	中村賢二
専務役員	茂手木信行
専務役員	多田博是
専務役員	阿久根操
専務役員	吉田達夫

常務役員	古厩 孝
常務役員	尾形 悟
常務役員	井出光康
執行役員	中山靖之
執行役員	瀬川昌彌
執行役員	近江秀味
執行役員	小菅 誠
執行役員	関根 繁
執行役員	小野沢潔
執行役員	藤原基文
執行役員	吉田 明
執行役員	小島章伸
執行役員	富永敏男
執行役員	岸本孝夫
執行役員	林 隆
執行役員	谷内正建
執行役員	仙頭靖夫
執行役員	大塚史久
執行役員	中道隆史
執行役員	野呂一幸
執行役員	清水宣治
執行役員	小沢純一
執行役員	村上隆得
執行役員	八田英治
執行役員	台 和彦
執行役員	小泉 徹

株主メモ

- 1 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 2 定時株主総会** 6月中
- 3 基準日** 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
- 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋
- 5 株主名簿管理人** みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱所 〒135-8722
(郵便物送付先) 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
及びお問合せ) みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話 0120(288)324 (フリーダイヤル)
- 同取次所** みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社本店及び
全国各支店
- 手数料** ①名義書換：無料
②株券再発行：株券1枚につき210円（消費税額
等を含む）但し、併合及び満欄の場合は無料
③単元未満株式の買取・買増：株式の売買の委託
に係る手数料相当額として別途定める金額及び
これに係る消費税額等の合計額
④株券喪失登録：請求1件につき10,500円（消
費税額等を含む）、喪失登録する株券1枚につき
525円（消費税額等を含む）
- 6 公告の方法** 電子公告
公告掲載URL(<http://www.taisei.co.jp/>)
但し、事故その他やむを得ない事由により電子公
告をすることができない場合は、東京都において
発行する日本経済新聞に掲載します。

【お知らせ】

●配当金のお支払いについて

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますので再度ご確認をお願いします。

(お支払期限)

・145期中間配当金：2007年12月7日・145期利益配当金：2008年6月30日

※振込方式による配当金の受領にご変更の場合は、同封の「配当金振込指定書」の裏面をご覧ください。

進化した2×4住宅

空間王 FUSION



寄棟屋根とラップサイディングが作り出す水平のライン。
おらかさの中に品格を感じさせるデザインです。



〈空間王 フュージョン〉

めざしたのは、“大人のゆとり”です。

大成建設の家に新デザイン登場!

スーパーゼネコンがつくる

大成建設の家

安心、快適なコンクリート住宅

Palcon —Prairie Style—

質感ある素材の組み合わせが印象を強めるキュービックな面構成。
水平線と垂直線が都会らしさを生むデザインです。



〈パルコン プレーリースタイル〉

大成建設株式会社
住宅事業本部

お問い合わせ先

☎ 0120-197-406

<http://www.homestyle.taisei.co.jp/>



地図に残る仕事。

大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111

<http://www.taisei.co.jp/>